

川上ダム通信

2016
5
月号



Vol. 128
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

川上ダム自然環境保全委員会を開催

3月28日(月)、川上ダム建設所ふれあいホールにおいて、「川上ダム自然環境保全委員会」を開催しました。

本委員会は、川上ダム建設事業における自然環境の保全対策について、有識者から指導・助言をいただくためのものです。

今回の委員会では、平成27年度に当建設所で実施してきたオオサンショウウオの^{そじょうろ}遡上路※1設置や重要な植物の移植などの環境保全への取り組み、今後の環境保全の進め方等について説明しました。

委員の方々からは、工事が本格化すると工事に伴って大量の土砂移動が発生し、植物に限らず動物も含めて外来種※2が侵入する可能性があるため早期に対策を講じる必要があることや、オオサンショウウオの保全対策(^{そじょうろ}遡上路の設置など)を迅速に進める必要があるなどの指導・助言をいただきました。

※1 遡上路(そじょうろ) :

河川を横断している構造物に対して、オオサンショウウオが河川上下流へ移動できるように作った人工の通路

※2 外来種(がいらいしゅ) :

人の活動によって本来の分布域の外国や地域に導入(移動)された生物種



委員会の様子



遡上路の設置例

HOME >> 川上ダムの旬な情報 >> 環境保全の取り組み >> 環境に関する委員会等

環境に関する委員会等

川上ダム建設事業で行う環境保全対策について、指導・助言をいただくため、学識者で構成される環境に関する委員会等を設置しています。これまでの環境に関する委員会等の指導・助言を踏まえて、川上ダム建設所では、事業が環境に及ぼす影響やその対策についてとりまとめたものとして、平成21年7月に環境レポートを作成しています。

ここでは、環境レポートをとりまとめた以降に開催した、学識者による環境に関する委員会(川上ダム自然環境保全委員会)の議事概要等を掲載しています。



川上ダム自然環境保全委員会の開催状況(平成27年3月26日)

開催年月日	議事概要等
平成27年3月26日	①議事次第 ②会則 ③資料 ④議事要旨
平成28年3月28日	①議事次第 ②会則 ③資料 ④議事要旨

「環境保全の取り組み」のページへ

ホームページでの紹介

当建設所では、委員会でいただいた指導・助言の内容を今後の環境調査や保全対策に反映させ、引き続き川上ダム周辺の自然環境の保全に努めてまいります。

詳しい委員会の資料などは当建設所のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

【環境課 廣瀬真由】

工事の進捗状況 ～付替県道青山美杉線～

現在行っている付替県道青山美杉線の工事について紹介します。

右の図の①工事区間では、ダム通信3月号でも紹介しました、長さ約350mの道路をつくる工事をしています。今年の3月からは、右の図の②工事区間で、現道青山美杉線と付替県道青山美杉線の接続部においてガードレールの移し替えや舗装等の工事に着手しました。



①工事区間の様子（平成28年3月時点）

今後、これらの工事の進捗状況や新たに動き出す工事を、適時ダム通信で紹介していきます。

また、川上ダムホームページでも工事の進捗状況を紹介していきますので、是非ご覧ください。

【工事課 飯島芳則】

例年と変わらない湧水を確認しました

3月24日（木）、桐ヶ丘自治会の皆様と当建設所職員で湧水調査を行いました。この調査は、桐ヶ丘自治会の皆様から『川上ダムに水を貯めると桐ヶ丘団地の方へ水が流れこんでくるのではないかと』のご心配の声をいただいているため、平成21年より毎年実施しているものです。

調査地点は、付替県道松阪青山線脇から山林の中へ入って急な傾斜の場所や木々の間などを抜けたところにあり、川上ダム建設予定地と桐ヶ丘団地との間にある尾根から桐ヶ丘団地へと流れる沢にあります。

昨年と同じ2箇所では沢水の水量調査を行ったところ、1箇所目では、目視により沢の流れが昨年と同じ様子であることを確認しました。2箇所目では、ストップウォッチとメスシリンダーを使って沢の水量を計測したところ、こちらも平年並みの水量があることを確認しました。

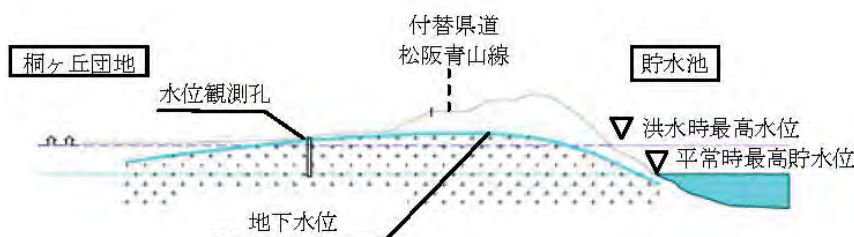


メスシリンダーを使って水量計測

川上ダム建設予定地と桐ヶ丘団地との間にある尾根を「^{うがたんぶ}右岸鞍部」と呼んでいます。「鞍部」とは、尾根の一部で、低くくぼんで馬の鞍のような状態になっている部分をいいます。この湧水の調査と当建設所で実施している地下水位観測の結果により、ダムに水を貯めた時の最高水面よりも右岸鞍部の地下水位の方が高い位置にあることを確認しています。さらに、ダムサイトと同様に堅固な岩盤があることも確認しています。このため、ダム

に貯めた水が桐ヶ丘団地側に流れこむことはないと考えられます。

今後とも桐ヶ丘団地の住民の皆様にご安心いただけるよう、引き続き右岸鞍部の湧水調査を行ってまいります。



桐ヶ丘団地とダム貯水池の地下水面イメージ図

【調査設計課 藤本智宏】



ゲート内は危険です！許可なく進入出来ません！

当建設所では、定期的に職員が将来ダム湖となる用地（事業用地）内のパトロールを実施しています。倒木、崩落など通行に支障となる箇所がないか、不法投棄がないか、河川の水が濁っていないか、侵入者がいないかなど注意をはらっています。

事業用地内では付替県道の工事が行われていて、大型ダンプが行き交っていたり、建設機械が斜面の上などで動いています。パトロール中に落石や倒木も確認されており、思わぬ事故につながりかねませんので、事業用地への入り口にはゲートを設置して一般の方々の立ち入りをご遠慮いただいております。

皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



落石など、事業用地内は危険がいっぱい

【前第二用地課 古川直史】

春を探して～青山桜めぐり～



伊賀市阿保



伊賀市阿保



伊賀市老川



伊賀市桐ヶ丘



伊賀市桐ヶ丘



伊賀市霧生



伊賀市高尾



伊賀市種生



平成28年4月6日撮影

川上ダム通信 編集部メンバー紹介

この4月の人事異動により、川上ダム通信編集部のメンバー入れ替えがありました。これまで同様、川上ダムに関する情報や地域の話題などをより分かりやすく発信していきます。よろしくお祈いします。

写真前列左から

八重樫記者（新規）、小谷ロデスク、加納編集長、
大西デスク（新規）、山本記者（新規）

写真後列左から

谷村記者（新規）、小野記者（新規）、
富士澤記者（新規）、清水記者（新規）



今年度もよろしくお祈いします！

4月の転出者と転入者の紹介

転出者

所属	氏名	異動先
副所長(技術)	湊上吾郎	池田総合管理所(徳島)
総務課長	梅村喜重	利根導水総合事業所(埼玉)
総務課	湯本 洋	関西・吉野川支社(大阪)
第一用地課	本山和良	国土交通省(東京)
第二用地課	古川直史	朝倉総合事業所(福岡)
調査設計課	遠本和也	国土交通省(東京)
調査設計課	森谷崇正	辞職
環境課	金井大輔	総合技術センター(大分)
工務課	日隈晃輝	日吉ダム管理所(京都)

転入者

所属	氏名	異動元
副所長(技術)	松岡義幸	朝倉総合事業所(福岡)
総務課長	大西誉朗	琵琶湖開発総合管理所(滋賀)
工事課長	濱口 浩	琵琶湖開発総合管理所(滋賀)
総務課	谷村正子	豊川用水総合事業部(愛知)
第一用地課	富士澤誠	木津川ダム総合管理所(三重)
第二用地課	八重樫知宏	新規採用
調査設計課	竹内裕治	思川開発建設所(栃木)
調査設計課	只野尚徳	荒川ダム総合管理所(埼玉)
調査設計課	山本晃世	群馬用水管理所(群馬)
調査設計課	水野浩佑	木曾川用水総合管理所(愛知)
調査設計課	松本 剣	三重用水管理所(三重)
調査設計課	栴島篤訓	木津川ダム総合管理所(三重)
環境課	清水杏子	豊川用水総合事業部(愛知)
工務課	小野周平	中部支社(愛知)

本誌に対するご意見と掲載記事を募集します！

当建設所では、読者の皆様により一層楽しみながら川上ダム通信をお読み頂けるよう、本誌に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせくださいようお願いいたします。

【問い合わせ先】 総務課

TEL 0595-52-1661 Mail somu1@lily.ocn.ne.jp

※掲載記事については、広告など営利目的のものはお受けいたしかねますのでご了承ください。

イベントのお知らせ

余野公園つつじ祭り

開催日 平成28年5月8日(日)

開催場所 余野公園

問合せ先 伊賀市商工会

TEL 0595-45-2210

千方のウォーキング&餅撒き

開催日 平成28年5月22日(日)

開催場所 千方窟・岳の里会館

問合せ先 千方伝承会 広報担当 年岡様

TEL 080-2613-1880

編集後記

いよいよ5月に伊勢志摩サミットが開催されますね。日本での開催は2008年北海道に続く6回目となるそうです。各国の首脳が集まりグローバルな課題を討議する場ですが、小市民としては開催期間中の交通規制やテロの方が気がかりです。

【広報誌発行事務局】

編集長 加納(所長)

デスク 大西(総務課長) 小谷口(工務課長)

記者 谷村(総務課) 富士澤(第一用地課)

八重樫(第二用地課) 山本(調査設計課)

清水(環境課) 小野(工務課)